

## ispace, 三井住友銀行からの借入による計70億円の資金調達を実施

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）は、ミッション3及びミッション6の開発及び運用に係る運転資金として、三井住友銀行より計70億円の資金を銀行借入により調達することをお知らせいたします。

当社は下記概要の通り、2024年4月30日（火）に短期及び長期の借入計70億円を実行し、2026年に打ち上げを予定しているミッション3及び2027年に打ち上げを予定しているミッション6の開発及び運用等に係る運転資金を調達いたします。

尚、本借入金の一部については、同行からの既存借入金の返済に伴う借り換えとなります。また、同70億円の内、短期借入金（ブリッジローン）については、今後の期間満了に伴い金融機関とパーマネントローン化の手法について協議中であり、決定次第速やかにお知らせいたします。

月面開発に向けた技術の品質向上サイクルを加速し、拡大が期待される市場需要の取り込みに注力するべく、当社は今後も様々な資金調達手法を活用し、手元資金の拡充及び財務基盤の安定性を一層高めて参ります。

### ■ 資金借り入れの概要

#### (1) 短期借入金（ブリッジローン）

① 借入先	三井住友銀行
② 借入金額	50億円
③ 借入金利	変動金利（基準金利＋スプレッド）
④ 借入実行日	2024年4月30日
⑤ 借入期間	3ヶ月
⑥ 返済方法	期日一括返済
⑦ 無担保・無保証	無担保・無保証

## PRESS RELEASE

### (2) 長期借入金

① 借入先	三井住友銀行
② 借入金額	20 億円
③ 借入金利	変動金利（基準金利＋スプレッド）
④ 借入実行日	2024 年 4 月 30 日
⑤ 借入期間	3 年間
⑥ 返済方法	期日一括返済
⑦ 無担保・無保証	無担保・無保証

### ■ 既存借入金返済の概要

① 借入先	三井住友銀行
② 借入金額	30 億円
③ 借入金利	変動金利（基準金利＋スプレッド）
④ 借入実行日	2023 年 8 月 31 日
⑤ 返済予定日	2024 年 4 月 30 日

### ■ 株式会社 ispace (<https://ispace-inc.com/jpn/>)について

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカの3拠点で活動し、現在約 300 名のスタッフが在籍。2010 年に設立し、Google Lunar XPRIZE レースの最終選考に残った 5 チームのうちの 1 チームである「HAKUTO」を運営した。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスを提供することを目的とした小型のランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、月市場への参入をサポートするための月データビジネスコンセプトの立ち上げも行う。2022 年 12 月 11 日には SpaceX の Falcon 9 を使用し、同社初となるミッション 1 のランダーの打ち上げを完了。続く 2024 年冬<sup>i</sup>にミッション 2 の打ち上げを、2026 年<sup>ii</sup>にミッション 3、2027 年<sup>iii</sup>にミッション 6 の打ち上げを行う予定。

ミッション 1 の目的は、ランダーの設計および技術の検証と、月面輸送サービスと月面データサービスの提供という事業モデルの検証および強化であり、ミッション 1 マイルストーンの 10 段階の内 Success8 まで成功を収めることができ、Success9 中においても、着陸シーケンス中のデータも含め月面着陸ミッションを実現する上での貴重なデータやノウハウなどを獲得することに成功。ミッション 1 で得られたデータやノウハウは、後続するミッション 2 へフィードバックされる予定。更にミッション 3 では、より精度を高めた月面輸送サービスの提供によって NASA が行う「アルテミス計画」にも貢献する計画。

<sup>i</sup> 2024 年 4 月時点の想定

<sup>ii</sup> 2024 年 4 月時点の想定

<sup>iii</sup> 2024 年 4 月時点の想定